

THINK フィットネスが SPORTEC で新しいノーチラスマシンを展示しました

2014 年 1 月 31 日

来場者、出展社、プレス関係者がビッグサイトの会場に入っただけで目につくのは、最新のノーチラスマシンを展示している THINK フィットネスのブースでした。THINK フィットネスのスタッフは、熱心に最新のトレーニング情報を説明していました。



ノーチラスマシンを試した来場者には特製 USB が配られました。また、シニア向けのトレーニングプログラムとして、ノーチラス エイジングプログラムが紹介されました。ノーチラスグループジャパン社長の相馬仁胤は「シニア層のような人口統計において重要なグループへの解決策を提供し、日本のフィットネス市場を拡大するために、エイジングプログラムや他のノーチラスプログラムは良い例となるでしょう。THINK フィットネスはこれらのプログラムを紹介します。」と述べました。

SPORTEC の来場者はノーチラス ONE およびノーチラス EVO のストレングスマシンを試しました。THINK フィットネスの営業スタッフが説明したように「これらのマシンはユーザーの意見を反映して設計されています。ノーチラス ONE のアルミ製のダイヤルは、ドアノブのように片手で回すだけでウェイトを選択することができます。」ユーザーは座ったままで ONE のダイヤルに手が届くところが、この技術の素晴らしいところだと相馬氏は話します。「ウェイトを調節するために、腰を曲げたり、立ち上がる必要が無いという事です。これは、若者にとっては大きな問題ではないかもしれないが、シニアにとっては重要な事です。また、赤い印は、安全で効果的な結果を得るために必要な、正しい関節の軸の位置になります。」と相馬氏は説明しました。

THINK フィットネスのある営業スタッフはクラブのオーナーに熱心に話していました。「EVO マシンは、ユーザーをマシンに適合させるのではなく、マシンがユーザーの動作に適応するので、EVO マシンを信じるにはマシンを感じてください。ノーチラス独自のマシン設計は、正しい姿勢と背筋を作ります。」

また、革命的なマシンであるノーチラス K2 バーチカルクライマーを試すために、年齢や性別を問わず様々な方が並んで待っていました。K2 の未来型の設計の特徴は、初心者から上級者まであらゆるフィットネスレベルに合わせるために負荷が 20 段階ある事です。さらに、安全性とエクササイズ情報を提供する心拍数モニターを搭載したハンドルが付いています。

相馬社長は、「日本のフィットネス市場の参加率は3%と非常に低いです。しかし、30年後、この業界においてノーチラスの体制と THINK フィットネスのビジョンの連携がマーケットを拡大し、日本のフィットネス参加者特有のニーズに合わせる鍵を握っていると考えています。」と締めくくりました。



Gregory L. Zink
CEO, Nautilus Group Japan

＜ノーチラスに関するお問合わせ＞
株式会社 THINK フィットネス
フィットネスプロダクツ事業部
東京都江東区南砂3-3-6
TEL: 03-3645-9801

